

会 議 録

1 会議名

令和6年度第9回安塚区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

○自主的審議事項（公開）

（1）旧安塚中学校の利活用について

○その他（公開）

3 開催日時

令和7年1月28日（火）午後6時00分から午後7時15分まで

4 開催場所

安塚区コミュニティプラザ 3階 大会議室

5 傍聴人の数

2人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）の氏名（敬称略）

- ・ 委 員：秋山委員、池田（正）委員、池田（康）委員、和泉委員、岩崎委員、新保副会長、中村委員、松野委員、山岸委員、吉野会長
- ・ 事務局：安塚区総合事務所 今井所長、山崎次長、小林市民生活・福祉グループ長（併教育・文化グループ長）内田班長、本山会計年度任用職員

8 発言の内容（要旨）

【吉野会長】

- ・ 会議の開会を宣言
- ・ 滝沢委員、横尾委員の欠席を報告
- ・ 上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

本日の会議録は、内規により私の方で対応する。

それでは、次第2：自主的審議事項（1）旧安塚中学校の利活用について、議事を進めていく。

前回12月24日の協議会において、12月5日の市議会文教経済常任委員会の所管事務調査の結果を踏まえ、検討している4案の一つである「不登校特例校（学びの多様化学校）の設置」を取り下げることとした。本日は、残りの3案の進め方について協議したい。

まずは、今までの検討内容を整理したい。事前に配布した整理表について、事務局から説明をお願いする。

【内田班長】

（資料により説明）

【吉野会長】

ただ今の説明について質問等はあるか。

【和泉委員】

今、3つの案について説明があったが、性質に違いがあると思う。旧安塚中学校を利用して何かやるということは共通しているが、商業施設とデータセンターについては、地域経済の活性化であり、分けがけができると思う。地域の課題を解決することや、活性化策の策定は私たちの任務でもあるので、分けがけして進めて行く方がよいと思う。

【吉野会長】

今、和泉委員から3つの案は性格が違うので、地域全体の活性化という観点から商業施設、データセンター誘致を先行して進めるという意見があった。その他はないか。また、和泉委員の意見について質問はあるか。松野委員いかがか。

【松野委員】

商業施設とデータセンター誘致を考えていった方がよい。なぜなら、やすづか学園については、支援委員会の高齢化の問題はあるが、学園の意向を聞いていない。

【秋山委員】

商業施設化に体験学習施設を入れるのも良いと思う。雪だるま財団の解散により、越後田舎体験で安塚に来る子がいなくなった。私も受け入れていたが、今年は受け入れていない。体験することで、来た時と帰る時で顔つきが変わるくらい、子どもに良い変化がある。せっかく学校であるので、体験学習の施設にも利用できないかと考えている。キューピットバレイもあるし、妙高市の杉野沢では、青山学院大学の陸上部が合宿に来るため、有名になった例もある。一部宿泊施設として合宿などで使用し、キューピットバレイで高地トレーニングをするという形の誘致もできるのではないかと思います。

【吉野会長】

今、秋山委員から体験学習の拠点に組み入れてはという意見があった。

【和泉委員】

私が7月19日に提出した資料に、体験型スクールを入れている。校舎、体育館、グラウンド、屋上などの利用案も示してあるので参考にしていいただければと思う。

【吉野会長】

皆さんも資料を参考にしていいただければと思う。

【松野委員】

以前新聞に、雪国居住空間コンテストというものが開催され、建設会社が案を出して活動しているというものが載っていた。ここに視察に行くのも一つの手である。ここにどれくらいの費用が掛かっているのか、情報収集していいただければ参考になると思う。

【吉野会長】

松野委員から、費用の面でどれくらいかかっているのか話があったが、十日町市などに聞いた方が良いのか。

【松野委員】

コンテストを実施しているのが十日町市であるので、十日町市に聞いてもらえばわかると思う。

【和泉委員】

費用については、文部科学省が出している廃校活用事例集で、どの様な補助金を使っていくな掛かったということがわかる。それも目安になると思う。今具体的に何を設置するかということが検討されてしまっているが、その前の段階で、どちらにするかを決めなければならない。商業施設なのか、データセンターなのか、やすづか学園の移転なのか。もう一度立ち返っていただいて選考していいただければと思う。

【吉野会長】

私が聞いたところによると、やすづか学園については、職員の方々は移転したいという気持ちはあるようだ。

【池田（正）委員】

やすづか学園については、先生方ばかりではなく、社会福祉協議会の意見も聞かなければならない。それと、体験型と言われても一年を通してどんな体験ができるのか、冬場のスキーだけの体験では駄目だと思う。年間通して、月一回くらいの体験の受入れで

は採算が取れないのではないかと。私は、商業施設化はお金がかかるし難しいと思う。この地域の人口が減少している中でいかに皆さんから集ってもらう場所を作ることができるのか、データセンターはまだ可能性があるが、市が先頭に立って進めていかなければ難しいと感じる。

【吉野会長】

やすづか学園の移転であれば、学園のスタッフや福祉を所管する課、保護者などと面談する。施設を見学させてもらい、意見交換をするなどが方法の一つではないかと思う。商業施設化については、本当に運営ができるかなど、NPO雪のふるさと安塚と知恵を出し合って協議をしていくことが必要なのではないかと。また、総合事務所を通じて、市の所管する課とも意見交換することが必要である。データセンターについては、経産省や総務省の補助金を使う場合、行政がどこかとタイアップして、手上げ方式で提案することが優先される。市は提案があるのを待っている状況であるが、まずは雪だるま財団で雪冷房の研究をされていた元職員から話を聞くのも一つの方法かと思う。皆さんの方で何か良い案があれば聞かせていただきたい。中村委員いかがか。

【中村委員】

事務局から作っていただいた資料はよくまとまっているのでこれで良いかと思う。

【吉野会長】

山岸委員いかがか。

【山岸委員】

このとおりで良いと思うが、旧安塚中学校のどこかはわからないが、雨漏りしている所があり、修繕をしなければならないという話を聞いたことがあるが、その辺はどうなっているか。

【吉野会長】

私は初耳であるが、所管されていた小林グループ長わかるか。

【小林グループ長】

私の知っている範囲では聞いていない。初耳である。

【吉野会長】

所長、総合事務所にそういう話は上がっていないか。

【今井所長】

私の所には上がっていないが、話をいただいたので調査させていただく。

【吉野会長】

池田（康）委員いかがか。

【池田（康）委員】

旧安塚中学校について、電気などは通電されているのか。

【今井所長】

電気は切ってはいない。

【池田（康）委員】

先ほどの会長の話で、やすづか学園の職員は移転したいという希望があるらしいが、正式に聞き取りをしていないので、意向を確認する必要がある。商業施設化、データセンターについては、経済効果が期待されるが、やすづか学園の移転は、それほど効果がないと思われる。それでも子供たちが移転して良かったということになれば、地域貢献にはなるのではないか。データセンターについては、私も見たことがないので、旧安塚中学校の規模に合うかどうか分からない。商業施設化については、道の駅である雪だるま物産館、キューピットバレイなどがある中で、新しいものを作って果たしてどうなのかというのが私の意見である。

【吉野会長】

やすづか学園については、まず視察に行って現場で働いている方々、あるいは子供たちなどと意見交換をする。また、社会福祉協議会、所管する課、保護者の方々との協議も必要である。町内会長協議会、NPO雪のふるさと安塚とも意見交換をする必要があると考えている。どのように進めていくか皆さんに考えていただきたい。商業施設化については、先進地の視察も出ているが、具体的にどこに行ったら良いか。それらをどのように進めるか考えていただきたい。

【松野委員】

私もデータセンターについては分からない。まずは、話を聞いてみてはどうか。商業施設化については、費用も高額となるため、じっくり時間をかけて考える必要がある。

【秋山委員】

商業施設化については、費用対効果の面でどうなのか疑問がある。やすづか学園については、聞き取りが最初ではないか。

【吉野会長】

私もまずは意見交換をすることがスタートだと思うので、やすづか学園との意見交換

やデータセンターについては、雪だるま財団の元職員に連絡を取るなど、事務局と相談の上、来月の協議会までに一定の目安をつけて提案させていただく。

【和泉委員】

商業施設化を提案したが、3案ともいい案であり、どれになっても良いと思っている。廃校になった旧安塚中学校を使って、安塚をどのようにしたいかをもう一度考えていただきたい。昨年アンケート調査の結果を見たが、この町は後退が進んでいる、衰弱していると言っている。経済効果や賑わいの創出を中心に考えていった方が安塚のためになると私は思っている。各案を皆さんで揉んでいただいて、議論を活発化していただきたい。先進地の視察については、十日町市や津南町に廃校を利用した商業施設があり、似たようなところを選んで行ってみたら良いと思う。

【吉野会長】

岩崎委員いかがか。

【岩崎委員】

会長が言われた提案が良いと思う。とにかく一歩前へ出ないと何も進んで行かない。商業施設は確かに大変だと思う。和泉委員が言われるようにスタートは理想的で良いと思う。

【中村委員】

先ほど池田（康）委員からデータセンターについての話があったが、私も雪だるま財団の元職員から来ていただいて話を聞くことが一番早いと思う。まずは、私のわかる範囲で話をさせてもらう。元職員と何回か話をし、旧安塚中学校をデータセンターとして利用したらどうかという話をしたが、難しいとの話にはならなかった。データセンターの適正規模は、それを使いたい企業によると思う。私のイメージでは、グラウンドが雪冷房用の雪の山になり、建物は、体育館を利用しようと思っていたが、今日いただいた事務局の資料を見ると、体育館よりも校舎の方が良いのかなと思う。ただ、使いたいという企業とのマッチングがうまくいかなければ、話は進まないと思う。

【吉野会長】

データセンターについて、私が知っている範囲では、サーバーを入れるだけのコンテナでも良い。問題は、光ファイバーは大きいものを使うので、張替えが必要になるとコストがかかる。市を動かすためには、雪だるま財団の元職員の知恵をお借りした方が良いのではないかなと思う。

【池田（正）委員】

実際にデータセンターをやってみようという会社はあるか。

【吉野会長】

ある。

【池田（正）委員】

簡単に探せるものか。

【吉野会長】

大手建設会社などは海外にも展開している。今、電気料が高いため、エネルギーのある所にデータセンターを置くという流れがある。

【池田（正）委員】

国内でなくても良いのか。

【吉野会長】

良い。今地方のデータは、地方で管理してほしいという補助金になっている。データセンター自体は大量の雇用を生むということは無いが、それを起爆剤にしてどのような対策を取っていくか。IT関係の会社を誘致してくるかなど、市の腕の見せ所になってくる。時間も経過しているので、副会長、事務局と相談して、来月までに関係者との意見交換を具体的に示したいので、宿題とさせていただいて良いか。

（一同了承）

皆さんの方でこれだけはやってほしいというものはないか。

【和泉委員】

最終的に意見書を作成すると思うが、内容はどこまで盛り込むのか。例えば商業施設化について、旧安塚中学校を利用してこういうものを作ります、校舎の利用はこうします、など具体的な形を意見書に盛り込むのか。

【吉野会長】

地方自治法では地域協議会から意見書が提出された場合、必要と市長が認めた時は、適切な処置をしなければならないと義務付けられている。

【内田班長】

意見書の内容については、地域協議会で検討していただくことになる。

【吉野会長】

自治法上、必要と認めた場合に処置を義務付けられているため、必要と認めさせる意

見書でなければならない。提案する内容の効果まで記載する必要があると考える。

【池田（康）委員】

やすづか学園への聞き取りであるが、会長、副会長、事務局で聞くのはどうか。

【吉野会長】

その辺も含めて具体的に来月提案させていただきたい。

【新保副会長】

聞きに行くのも先生だけでは駄目だと思う。保護者、子ども、地域の皆さん、社会福祉協議会全部に聞かなければならない。一回では済まないため、来月までに全部の意向を確認することは無理である。

【吉野会長】

そのような話を含めて構想をまとめて、来月提案させていただく。

【新保副会長】

直ぐ行動に移せるのは、やすづか学園への聞き取りだと思う。

【池田（康）委員】

まずは、移転希望の有無を聞いて、次のステップに進めばよいのではないか。

【新保副会長】

職員の方々が移転を希望しても、子どもや保護者の方が移りたくないと言われるとなかなか難しい。

【池田（正）委員】

保護者や子どもの意見は重要ではないと思う。子どもは1年か2年でいなくなってしまふ。問題は職員の方々がどう思っているかであると思う。

【吉野会長】

旧安塚中学校も今のまま時間が経ては活用が難しくなる。何とか活用を進めて行かなければいけないと思っている。このことについては、会長、副会長、事務局に一任させていただきたい。次回、たたき台を出させていただく。和泉委員何かあるか。

【和泉委員】

やすづか学園は代表となる組織はあるのか。そこに聞いておけば職員の意見などわかるのではないか。

【吉野会長】

学びの多様化学校の要望書が出ていた時点で考えて挙げたものであり、まずは現場の

意見を聞いて社会福祉協議会にご了解願いたいと、足元を固めたうえで市の所管課にその旨を伝えていく事も手順としては必要な事だと思う。

【和泉委員】

組織的には、社会福祉協議会の組織の一部という形で良いか。社会福祉協議会の方はやすづか学園の現状を把握していて、もしくは意見を取りまとめていないということか。いないのであれば先ほど言われたように順序だてて聞いていかなければならないのか。

【吉野会長】

聞き取り方法などについては来月までの宿題とさせていただきたい。

【内田班長】

今後の対応案について確認をお願いしたい。秋山委員より商業施設化の目的欄に体験施設の機能も入れた方が良いという意見があったが入れるということでよいか。

【吉野会長】

入れるということで良い。

【内田班長】

今後の対応案については、先進地の視察ということで良いか。

(一同了承)

データセンターの今後の対応案について、研究者を招いて研修会を行うことで良いか。

(一同了承)

やすづか学園の移転について、事務局でも関係者への聞き取りは必要と考えている。ただ、今聞くべきなのか懸念としてある。課題の欄にも書いてあるとおり、学びの多様化学校の開校が令和8年4月であり、どのような運用になるか決まっていない。その辺も皆さんで議論いただきたい。皆さんいかがか。

【吉野会長】

それも含めて来月提案したらよいのではないか。

【内田班長】

それでも良いが、今ご意見をいただければ、それを加味した中で会長、副会長と協議できる。

【松野委員】

移転するかしないは、子どもの心理というか、学校へ行けない、家から出られない、だけど、やすづか学園に来たら、家から出られるようになった、そういったことがある

と思う。だから一概には言えないのだと思う。これから始まる学びの多様化学校も、一クラスに大した数が入れないと聞いている。その辺を考えた時に、先ほどから出ているいろんな方々から意見を聞きながら、早急に答えを出すのではなく様子を見ていく。子どもの中には、移転したけどこんなところやっぱり嫌だという子供たちもいるかもしれない。何とも言ってみようもない。なので、会長が言っているとおり、いろんなことを聞きながら方向性を定めていくことが良いと思う。

【吉野会長】

問題点も含めて来月具体的に提案させていただきたい。よろしいか。

(一同了承)

意見がなければ、旧安塚中学校の利活用については終了する。事務局から何かあるか。

【内田班長】

別紙の配布チラシについて説明

今年度地域の多様な意見を反映させるため、若者、女性、住民組織等との団体と意見交換を行う。3月上旬頃開催で進めていきたい。実施の詳細については後日案内を送付させていただく。

【吉野会長】

次に次第3：その他の(1)次回の地域協議会の開催日を確認する。通常であれば第4火曜日の2月25日(火)の開催となるが皆さんのご都合はいかがか。特に無ければ午後6時からの開催で良いか。

(一同了承)

以上で第9回安塚区地域協議会を閉会する。

9 問合せ先

安塚区総合事務所総務・地域振興グループ TEL：025-592-2003（内線23）

E-mail：yasuzuka-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せて御覧ください。